

## ・・・ 甲子園での勝利 文武に活躍した躍進の時代 ・・・

## ◆電算機教育への先駆け

広大な旧陸軍練兵場跡地に移転した本校は、自然環境に恵まれ、また最新施設・設備を有してここに新しい校風づくりに踏み出すことになった。昭和47年10月14日、校舎新築移転祝賀式は新校舎建築期成同盟の主催でとり行われた。

昭和50年1月、超小型電算機（FACOM MATE II型）が設置され、ようやく情報処理教育はその幕を開ける」ことになった。昭和53年3月、早くも文部省高等学校教育課程指定研究校として、「電子計算機一般における基本的指導事項の精選と関連諸科目での電子計算機学習の指導について」と題して研究成果報告書を発表し、県下における電算機教育の先駆けとなった。



## ◆甲子園への道

昭和51年7月29日、夏の高校野球新潟県大会を制して初の甲子園出場を決めた。部員僅か17名の野球部であり下馬評では決して優勝候補ではなかったが、逆転に次ぐ逆転の試合の連続であれよあれよの快進撃で見事新潟県大会の優勝を果たした。

8月12日第2試合、野球部甲子園初出場の対戦相手は宮崎県代表の県立福島高校。6回表4番左打者の松田選手が3塁に走者を置いて「内角高め」の初球を思い切りスイング、白球はあつという間に右翼ラッキーゾーンに飛び込む低い弾道のライナー性のホームランとなった。高田商は10-7と打撃戦を制しての逆転勝利となり、県勢にとって実に13年ぶりの甲子園勝利となった。

8月18日の第3試合、中京高校に10-1で敗れたが、チームとしては飛びぬけた選手がいたわけでもなく、怪腕投手がいたわけでもない。それが県大会・甲子園での劣勢をひっくり返す逆転の連続で、信じられぬ驚きと感動のドラマを演じてくれた。県勢初アーチと言い、県勢初の二けた得点と言い「筋書きのないドラマ」を見る思いがした。

## ◆創立60周年記念

野球部の甲子園での興奮の余韻さめやらない昭和51年10月15日、校舎竣工・創立60周年記念式典が厳粛に挙行された。その折、記念講演会で講師を務めて下さった作家、幸田文先生の「思うこと」は生徒に深い感銘を与えた。



s 51. 7. 29 新潟県大会優勝

**高田商業高校 \* 甲子園出場**  
**第58回全国高校野球選手権大会**

**応援団 1,000名 募集中!!**

①交通機関 大型デラックスバス (冷房・リクライニングシート)  
 1台につき**40名** (補助席は使用しません)

②行程・発場所 高田駅前④—直江津④—(夜行)—富山—甲子園—大津  
 19:30 20:00 22:30 8:00~19:00 21:00  
 —(夜行)—高田  
 8:00

★出発日 8月7日の抽選によって試合日(9日~13日の間)が決定しますので、8月7日正午  
 すぎから下記受付所でお発日をご案内いたします。(電話でご照会ください)

③会費 (バス代、食事代・3食分、入場券を含む) 大人…**10,000円**  
 小学生…**8,500円**





開会式入場行進



スコアボード/8.12 第2試合 (対宮崎県立福島高校)



懸命な応援／アルプススタンド応援席



女子チアガール／アルプススタンド応援席